

青木 聡子 (AOKI Soko)

専門は、環境社会学、社会運動論。2006年3月、博士後期課程修了。博士(社会学)。

ボランティア・セクターを中心にネットワーキングとコーディネートの社会理論。

2006年、東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。現在、名古屋大学大学院環境学研究科専任講師。

主要業績

論文

- ・ 2007, “ Sociological Perspectives on Environmental Justice: Rethinking on Anti-nuclear Movements in Germany ”, in Ohbuchi, K. (Ed.), Social Justice in Japan: Concepts, Theories and Paradigms, Trans Pacific Press. (in press)
- ・ 2006, 「抗議行動の持続性と参加者の運動観 ドイツにおける高レベル放射性廃棄物輸送反対闘争の事例から」『社会学研究』80: 1-13.
- ・ 2005, 「ローカル抗議運動における運動フレームと集合的アイデンティティの変容過程 ドイツ・ヴァッカーズドルフ再処理施設建設反対運動の事例から」『環境社会学研究』11: 174-87.
- ・ 2004, 「抗議運動におけるフレーミング 暴力的『よそ者』の受容をめぐる戦略的ジレンマとその克服」『社会学研究』76: 189-210.

リンク

- ・ [名古屋大学大学院環境学研究科](#)

研究カテゴリ